広報おおいしだ 2021/2 No.776

こえのするまち

広報 おーいしだ 大石田町

2021 2月 No.776

山形県大石田町ホームページ

携帯・スマホからアクセスできます

雪灯ろう街道／P2～3　百歳寿賀／P4　ニュース玉手箱／P6～7

■表紙写真／大石田中学校立志式（1月29日）

◇編集・発行　大石田町総務課
〒999-4112　山形県北村山郡大石田町緑町1番地
☎0237-35-2111　FAX 0237-35-2118
◇印刷　㈲印刷　文化堂

～おおいしだのとんとむがすあったけど⑭～

やけどをした観音さま

昔、非常に知恵がすぐれ、力の強い殿様がいた。延澤能登守は、この城を再三攻めたがどうしてもおちなかった。観音さまが、まわりを泥沼にしてくれたためである。能登守は困ったあげく、黒瀧の地蔵さまにお願いして、攻め方をたずねた。地蔵さまは、後ろの山に火をつけるように言ったので早速そうしてみた。焼山から火はどんどん燃え移り、とうとう落城してしまった。観音さまは能登守を火の病にしてやるといい、能登守はそのとおり、ボヤマイ（腸チフス）に罹った。これは、観音さまの祟りであろうと、能登守は、御堂を建てて、お祀りするように遺言して亡くなった。当時、本尊は、木の箱に入れられ秘仏として厳封されていたが、大正二年の暴風雨で御堂が倒れた際、木箱が壊れたので臨時の御開帳を行ったが、伝えられたとおりに、やけどが残っていた。現在の御堂は、別当博道大和尚の時の享保年間に再建されたもので、この工事には、新庄藩からも寄進があったという。この観音堂は、日野備中守を開基としてとして祀っており、別当は横山の曹源院である。

さて、やけどをした観音さまは、現在曹源院に安置されているが、みにくいので、決して人に顔をみせないといわれている。

○出典『大石田のとんとむがす』
（大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年）

町内で昔語り活動を行っている大石田とんとむがすの会によるお話です。

『大石田のとんとむがす』は町立図書館や町内の各小中学校図書館などに所蔵していますので、ぜひお手に取ってご覧ください。

「やけどをした観音さま」と塩ノ沢観音について

最上三十三観音の第二十八番札所として名高い塩ノ沢観音。塩沢山曹源院の宝物であり今回のお話にも出てくる千手観世音菩薩は、慈覚大師の作で第二十三番札所の六沢観音と同木の椋から作られたといわれ、観音堂に秘仏として祀られています。

また、今回舞台となった塩ノ沢館は、天正年間（一五七三～一五九二）に、延沢能登守に攻め滅ぼされましたが、曹源院は観音堂とともに館の近くにあったとされています。その後、北西の低地に再建されましたが、宝暦七（一七五七）年の洪水で流出し、現在地へ移りました。

○参考文献／みちのく巡りん倶楽部『山形　御朱印を求めて歩く札所めぐり　出羽・庄内ルートガイド』二〇一六　メイツ出版『続・山形のお寺』二〇〇六　大風印刷

楽がき帳

2月13日(土)にトムソーヤの冒険inスポーツ広場が開催され、町内外から子ども15人が集まりました。

この日は天候に恵まれ、寒くないようにと厚着をして参加したら少し暑いぐらい。今回は、雪遊びの定番のチューブスライダーや雪上ゴムボート、凧あげなどが用意され、子どもはもちろん、やってみると大人も楽しめます。私も、町地域おこし協力隊の大野さんと雪上ゴムボートを体験しましたが、動画撮影のためにスノーモービルの後部座席になんと後ろ向きで搭乗することに・・・。後ろ向きのため、運転手の方が左右どちらに曲がろうとしているのかわからないなかなかスリリングな体験ができました(笑)

この時の動画は動画サイトYoutubeで公開予定です。「たつたい」で検索をお願いします！　（松）

※この人数は外国人も含めたものです。

町の人口	令和3年2月1日現在	
世帯数	2,312戸	（－2）
総人口	6,703人	（－13）
男	3,229人	（－6）
女	3,404人	（－7）
（1月中の異動）		
出生 2人	転入 6人	
死亡 14人	転出 7人	